艀を並べて日向ぼっこ

大小樽港も哀れひつそり閑

◇…沿岸の形勢一巡記

6.23

罷業第四日目となつた沿岸方面の形勢はどうだ午後一時折柄の驟雨を浴びて沿岸一帯の視察に廻る平常港内に活躍する三百三十二隻の艀でやうやう運送に従事してゐるのは纔に近郵、山下の両艀二十隻足らず、運河内は一時隊列を並び並んだ数丁の間は艀で間隙がない位、貨物満載のまゝ幌をかけずに放り出してある艀なんぞ雨が降つたらどうする積りか

×

更に眼を転じて手宮沿岸には燃料炭を山盛に積込んだまゝのかけ艀四十余艘見事に放り出され、番人の影も見えない大将、吉川、日石の貯炭現場は高島方面から狩集めた臨時人夫に多数の女人夫が入り交つて台車運搬に大童だ、何といつても女の手、一向捗々しくない様子、何時もなら一斉に活動するコンベアーも今は鳴りを鎮め三交の一台がコトン／＼淋しさうな音を立てゝ運搬をやつてゐる

高島方面から輸送された石炭は艀積みしたまゝ[illegible]岸に繋がれ十数隻の[illegible]積んだ艀と睨みつこしてゐる有様だ、だが前日より手宮方面の荷車[illegible]緩和されて十九日[illegible]二十日は二十、更に二十一日は十六台と減少し、二万余[illegible]も

十九日　十二台　一六二噸
二十日　二十台　五八〇噸
廿一日　五十四台　八六〇噸

と増加、其他石炭も千五百三十噸となり稍復活の形

×

日々[illegible]九日来メッキリ[illegible]日は千五百六十噸、廿一日は千七百七十六噸といふ有様[illegible]日から港中の繋光丸なんぞ来たに[illegible]船となら[illegible]から[illegible]古たれ[illegible]要するのに[illegible]

から急遽六十六名の人夫を招集したがふだんの数百名の居仕事としては心細い貯炭場一帯は寂寥そのものだ

×

最も困つたのは内地各港より船舶を積んで入る小樽行船だ、何せ艀会社と艀屋と申合せの上人夫不足の際荷役となつて、でなくも何時まで陸揚待ちをさせらるゝか解らないのに何時もバラス積りにとつて行く石炭の積取が出来ず、ホンのチョッピリの荷物を積んで船脚ラく出て行く姿は全くみじめな有様だ、山方面からの石炭は当分低減する筈だと積込事務所長のはなし

労資協調法

6.24

資本家を排斥し、労働者のみによりて、産業を経営するの不可能なることは、ソヴイエット露国の現状によりて、十分に証明せられて居る。しかし在来の如く、資本家と、労働者とが、互に相対立して、敵国の観を為すに至つては、固より事業の成績が挙がるべき筈がない。互に分れ争ふ限は立つべからず、況や、国家よりは遥に微小なる会社工場においてをや。故に産業界に最も必要なるものは労資協調の精神である。先頃英国より米国に派遣せられたる産業視察委員は、帰来報告して、米国の産業界が隆盛を極むるは、主として労資の協調が行はるゝ為だといつて居る。

◇

如何にせば、労資の関係を円満にして、相協調せしむることが出来るかといふに、労働者をして其従事する事業に興味を有せしむるの外に策がない。如何にせば、労働者をして事業に興味を有せしむべきかといへば、労働者をして、事業の経営に参与せしむることゝ利益の幾分を彼等に分配するの外に途がない。人間は必ずしも利己心を以て固まつたものではない。公共心も、義務の観念も、作業に対する趣味もあらうが、彼等をして働かしむる最大の動機が其利己心にあることは論を俟たない。

◇

此点に最も早く注意して、其方法を講じ出したのがドイツの政治家と、米国の資本家である。ドイツにおいては、法律を以て、一定の規模を有する工場には、協議会なるものを設くべきことを命じて居る。協議会とは、同一会社に働く労働者をして、其代表者を選ばしめ、彼等をして、資本家の代表者なる会社の理事と共に、会社の経営に参与せしめるのである。是は頗る進歩したる方法の如くに思はれるが、法律を以て、資本家を強制することが、得策なるや否やは一箇の疑問たらざるを得ない。

◇

米国においては、資本家が種々の方法を設けて、自己の会社に使傭する労働者をして、其株主たらしめんことを勉めてゐる。其最も普通の方法は、株の幾分を労働者のために取除け、労働者の之を購買せんことを奨励する。大かための には、種々の便法を設けるのであつて、成るべく一株の金額を少くし、且数回に分ちて支払ふことを許す。又、ボーナスを与ふる場合には、成るべく株券を以てし、其額が一株に満たない時は、労働者の希望により、保存を与へ置き、其一株以上の金額となるに及びて株券と引換へるのである。

◇

かくして米国の大会社に於ては労働者にして株主たるものが、年々著しく増加しつゝある。例へば米国製鋼会社に於ては、其使用人にして株主たるもの五万三千九百七十四人に達し、其所有する株券の価額は一億弗に上り、米国電信電話会社に於ては其使用人の株主たるもの五万七千人にして、其金額は九千万弗を超へて居る。最近のロンドンタイムスによれば英国においても、南方鉄道会社において、始めて、其例を開き、新株を募集して、其使用人をして之に應ぜしむることゝしたるに、其成績頗る良好にして、今日までは使用人の手に渡りたる株券価額六万磅に上り、尚続々申込があるといはれて居る。我国の資本家たるものも、是等の例に鑑みる所あつてはどうであらうか。労働者に利益を分与せずして、事業の成績の挙らんことを望むは、全く無理なる注文といはざるを得ない。

法人 協調会